



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年9月27日

株式会社 おきぎん 経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2024年8月分）

### ◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

## おきぎん県内景況・速報 (2024年8月分)

◎2024年8月 おきぎん「カトリア」景況図



**概況：県内景況は、回復している。**

8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を上回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

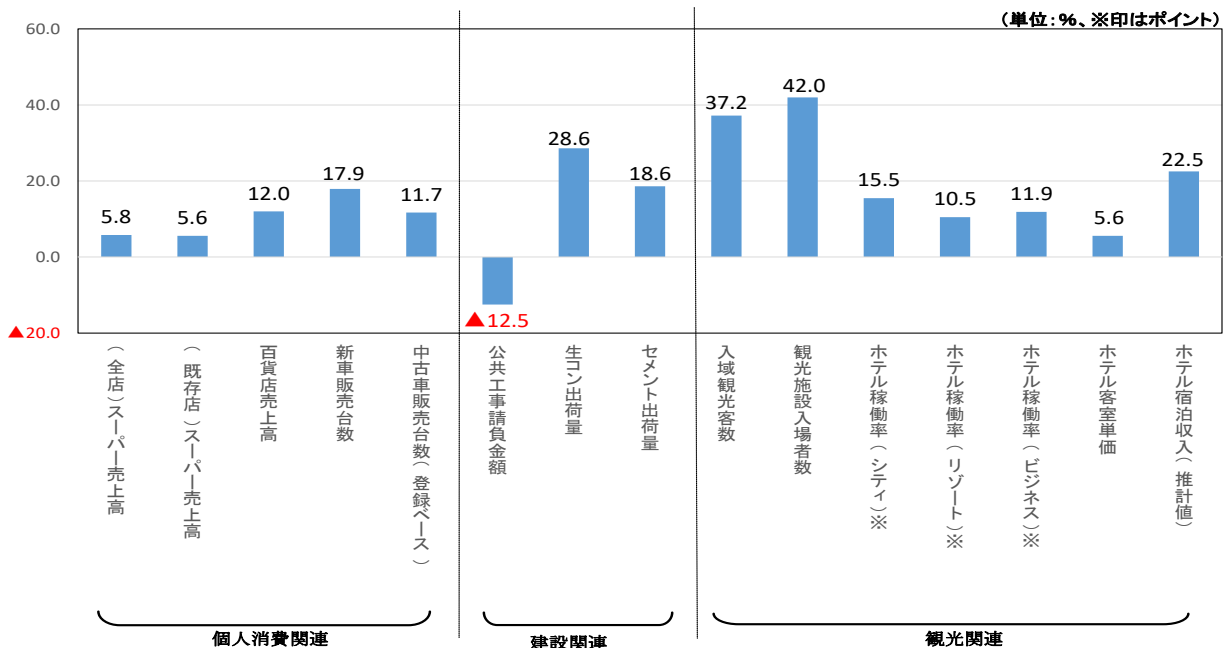
建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、公共関連は概ね堅調に推移し、民間関連はこのところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から11か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)



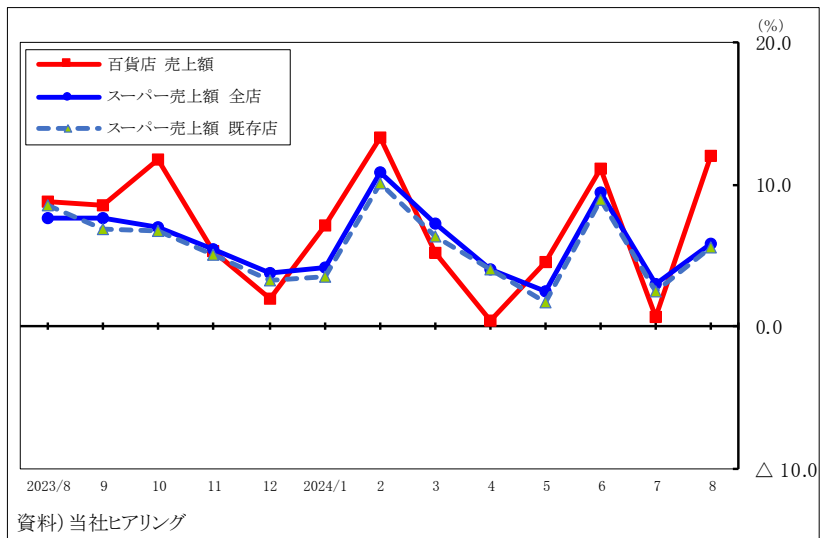


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2023/8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0
2024/1	4.1	3.5	7.1
2	10.8	10.1	13.3
3	7.2	6.4	5.2
4	4.0	4.0	0.4
5	2.5	1.7	4.5
6	9.4	8.9	11.1
7	3.0	2.5	0.7
8	5.8	5.6	12.0



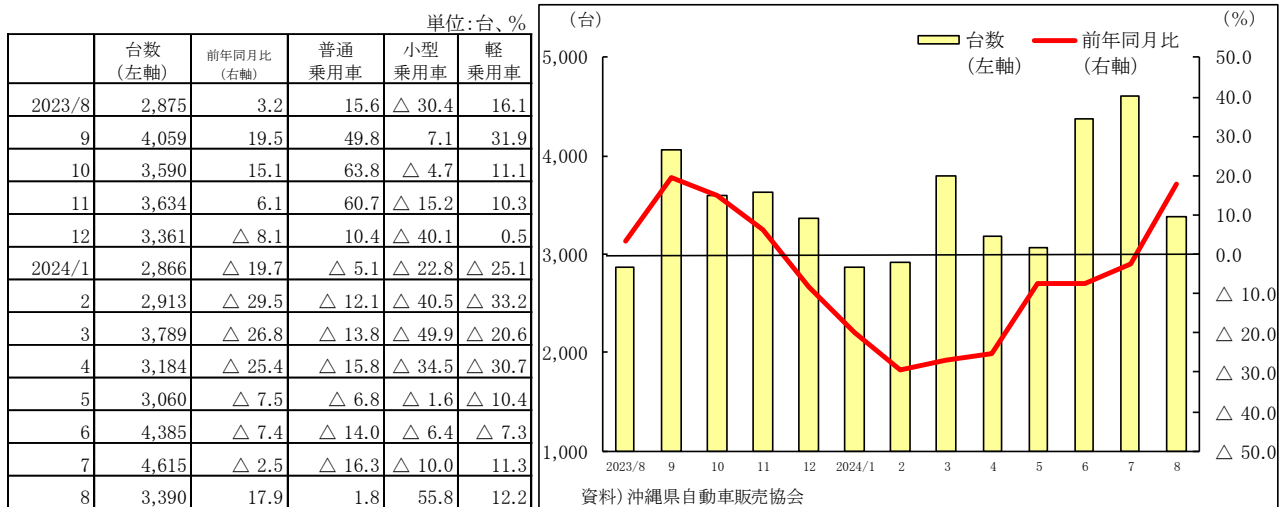
注) 前年同月比

8月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 5.8%増)」は、27 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 3.2%増)」は、物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 16.2%増)」は、店舗数の増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 20.2%増)」は、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 5.6%増)」は、27 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 3.3%増)」、「家庭用品(同 14.5%増)」、「衣料品(同 20.7%増)」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年に発生した台風による休業の反動などにより 15 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 12.0%増)。品目別では、「食堂喫茶(同 19.6%増)」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。「雑貨(同 23.5%増)」は、免税売り上げ増加や実施企画の好調などにより前年同月を上回りました。食料品(同 8.9%増)」は、前年同月を上回りました。

## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。

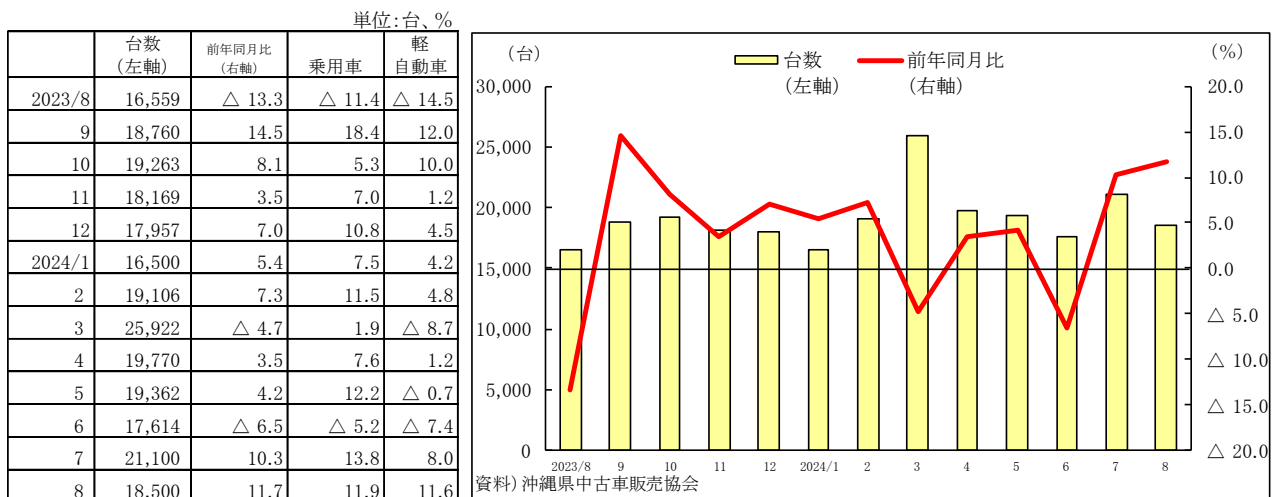


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,390台(同17.9%増)となり、9ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同1.8%増)」、「小型乗用車(同55.8%増)」、「軽乗用車(同12.2%増)」は、一部メーカーの出荷停止の影響緩和や新規レンタカー登録台数の増加などにより前年同月を上回りました。

## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

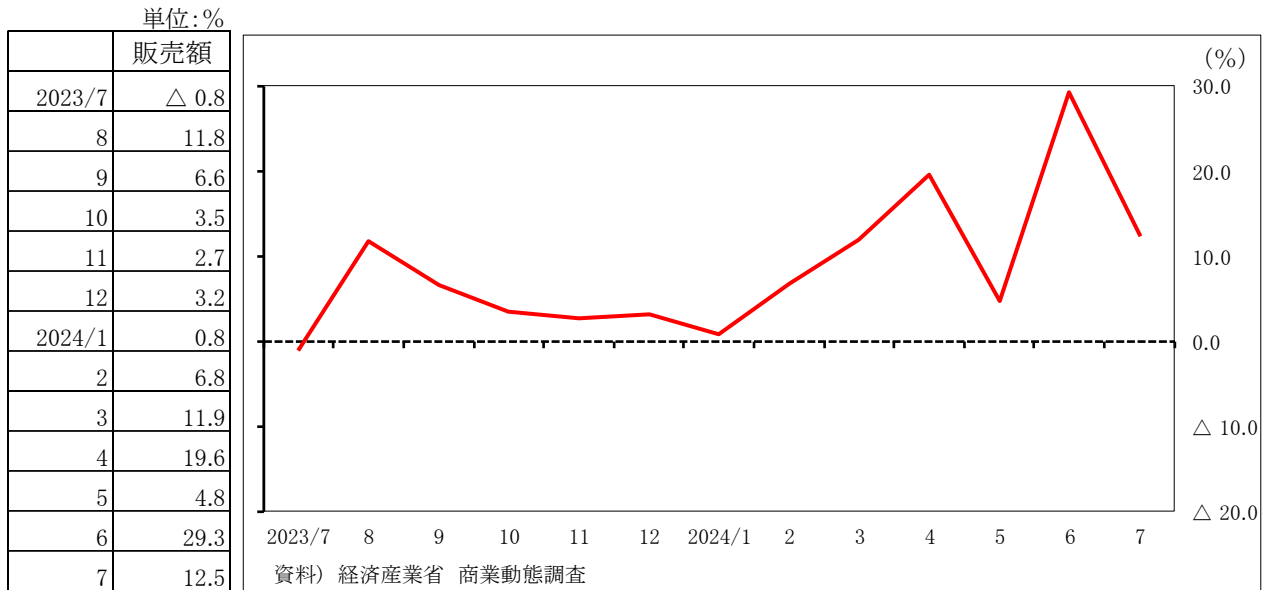


注) 前年同月比

注) 登録ベース

**中古車販売台数(登録ベース)**は、全体で18,500台(同11.7%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同11.9%増)」、「軽自動車(同11.6%増)」は、ともに前年同月を上回りました。

④ 【参考：7月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



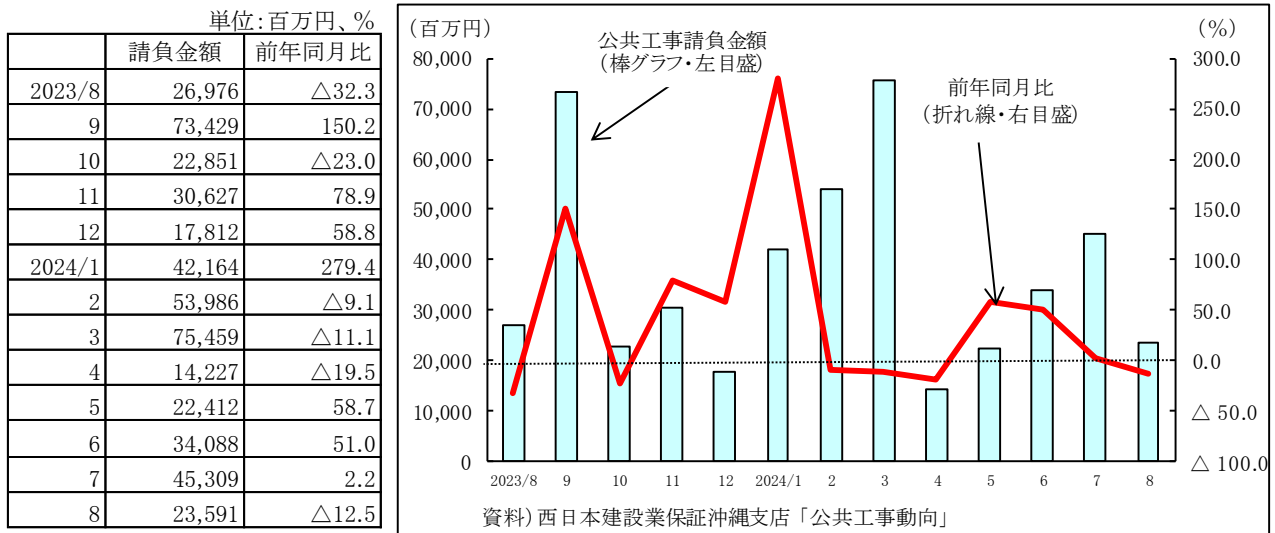
注) 前年同月比

7月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

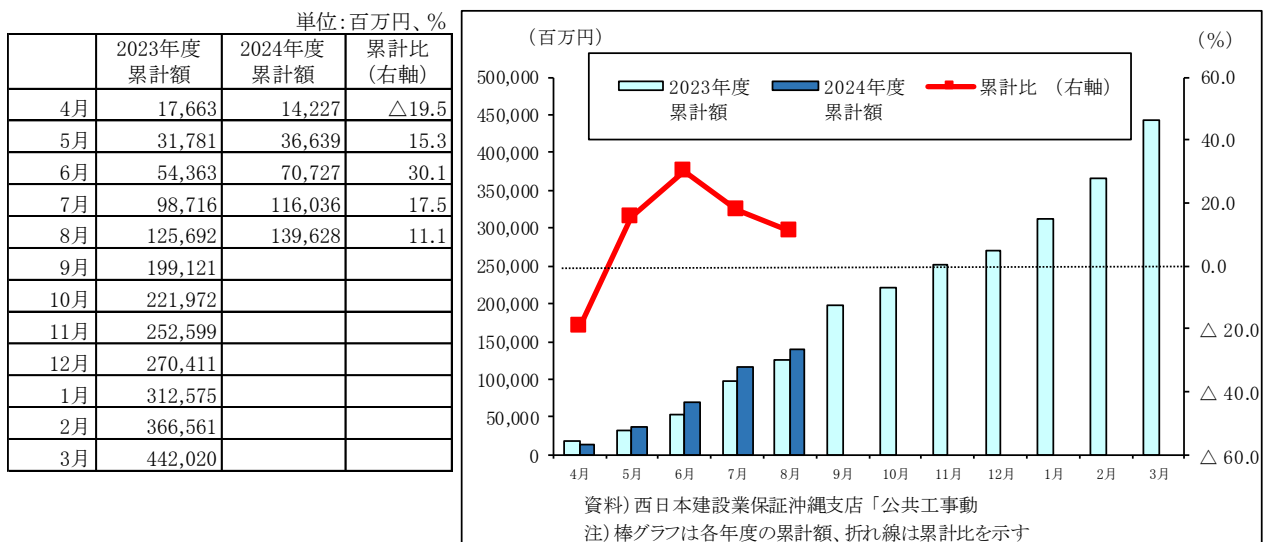


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



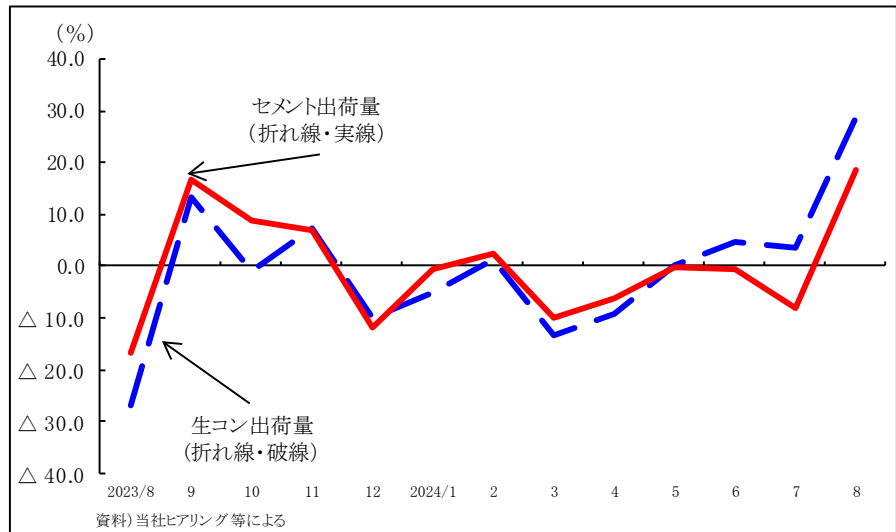
8月の公共工事請負金額は、前年同月比 12.5%減の 235 億 9,100 万円となりました(4ヵ月ぶりに減)。

発注者別で見ると、「国(同 46.6%減)」、「沖縄県(同 19.1%減)」、「その他の公共的団体(5.0%減)」は前年同月を下回りました。一方、「市町村(同 21.1%増)」、「独立行政法人等(22.8%増)」は前年同月を上回りました。

## ② 建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位:前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2023/8	△ 26.9	△ 16.6
9	13.2	16.6
10	△ 1.0	8.6
11	7.2	6.9
12	△ 9.9	△ 12.0
2024/1	△ 5.2	△ 0.5
2	1.4	2.4
3	△ 13.5	△ 10.1
4	△ 9.2	△ 6.2
5	0.1	△ 0.4
6	4.8	△ 0.6
7	3.4	△ 8.2
8	28.6	18.6



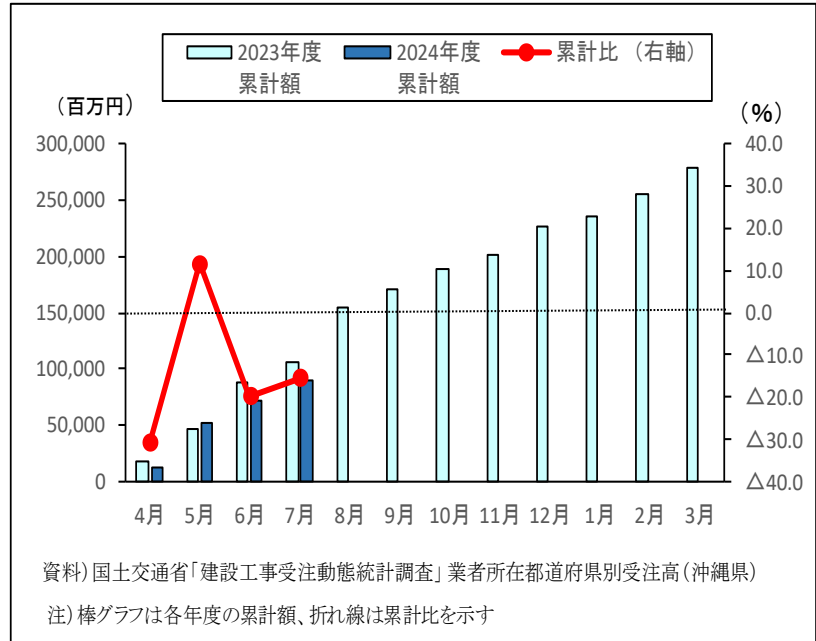
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は 28.6%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、民間工事向けは、全ての地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 35.6%上回りました。公共工事向けは、中南部地区、北部地区、石垣地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 16.2%上回りました。**セメント**の出荷量は、18.6%増と6ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

### ③【参考】民間等元請受注高（年度累計）…前年同期を下回る。

単位:百万円、%

	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	18,069	12,551	△30.5
5月	45,654	51,037	11.8
6月	88,815	71,203	△19.8
7月	106,797	90,334	△15.4
8月	155,056		
9月	170,863		
10月	189,095		
11月	202,154		
12月	226,690		
1月	235,764		
2月	254,964		
3月	279,940		

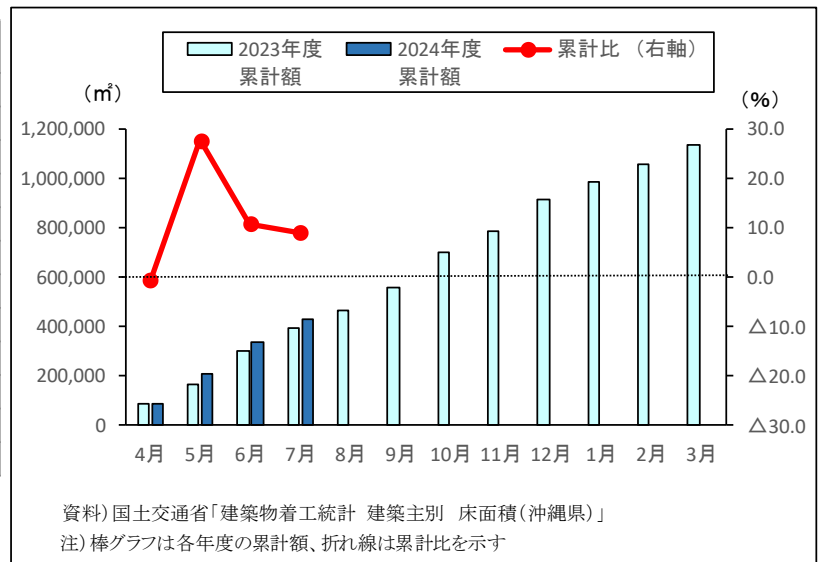


2024年度累計値では、15.4%減となっています。

### ④【参考】民間着工建築物床面積（年度累計）…民間（会社+個人）着工建築物の床面積は前年同期を上回る。

単位:㎡、%

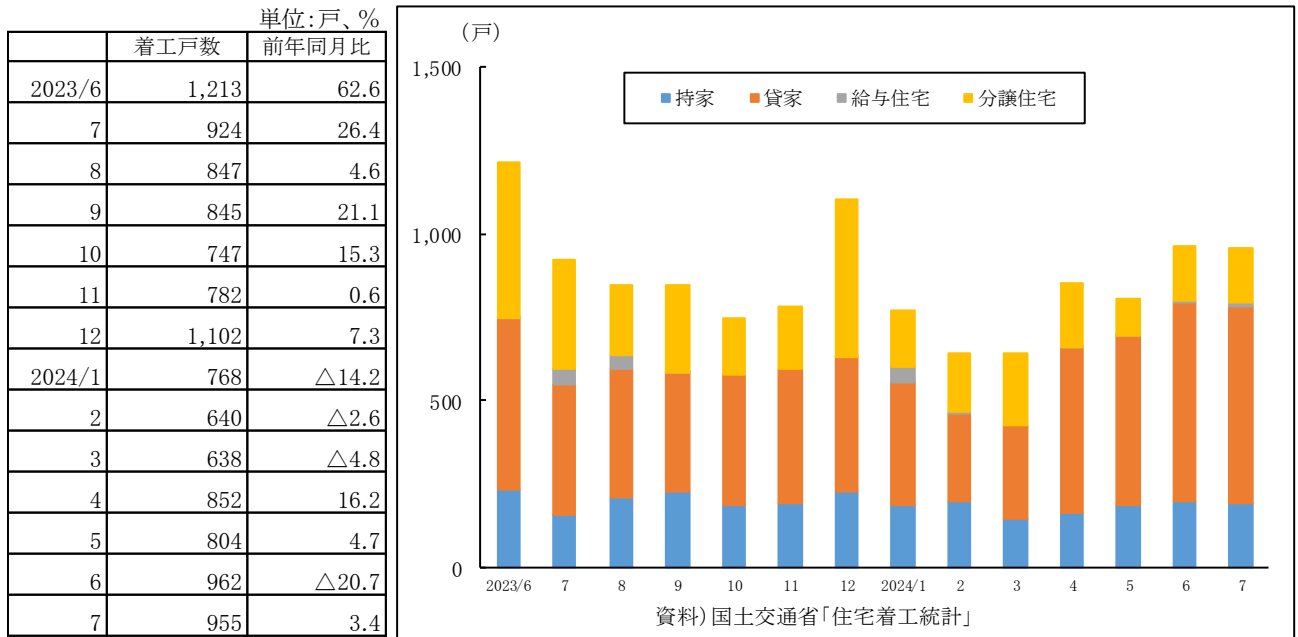
	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	88,485	87,961	△0.6
5月	162,447	207,647	27.8
6月	303,783	336,880	10.9
7月	392,409	428,079	9.1
8月	466,557		
9月	558,003		
10月	701,807		
11月	786,859		
12月	915,849		
1月	984,568		
2月	1,058,296		
3月	1,136,681		



2024年度累計値では、9.1%増となっています。

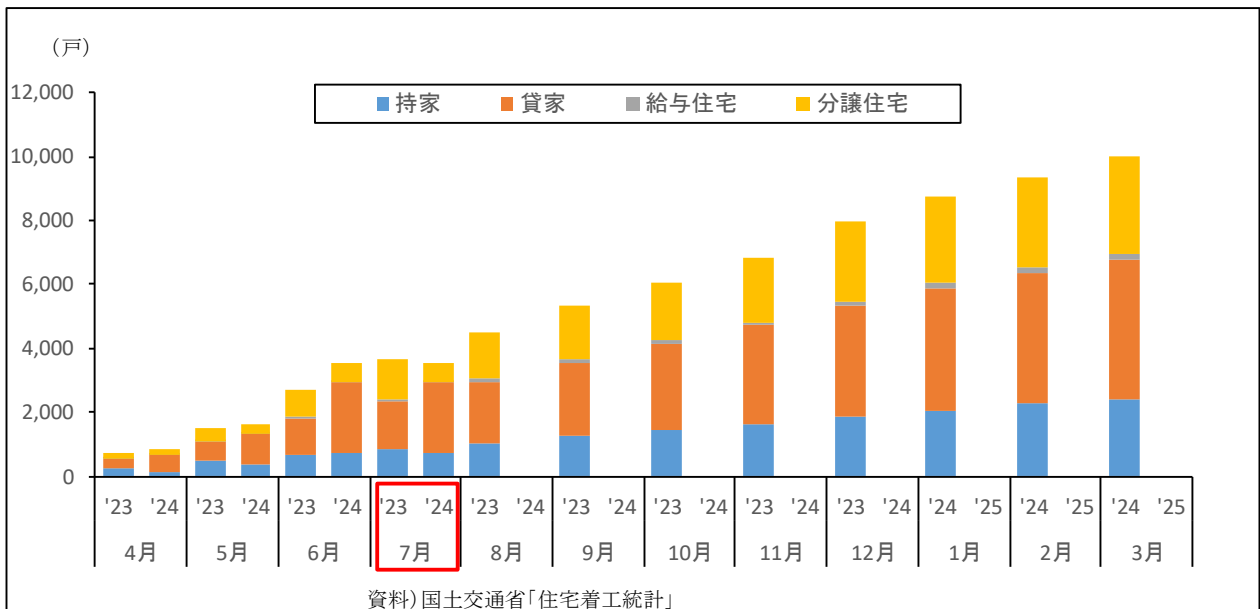


⑤【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。



7月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 3.4%増の 955 戸となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同 51.5%増)」、「持家(同 21.9%増)」は前年同月を上回りました。一方、「分譲住宅(同 51.1%減)」、「給与住宅(同 72.0%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

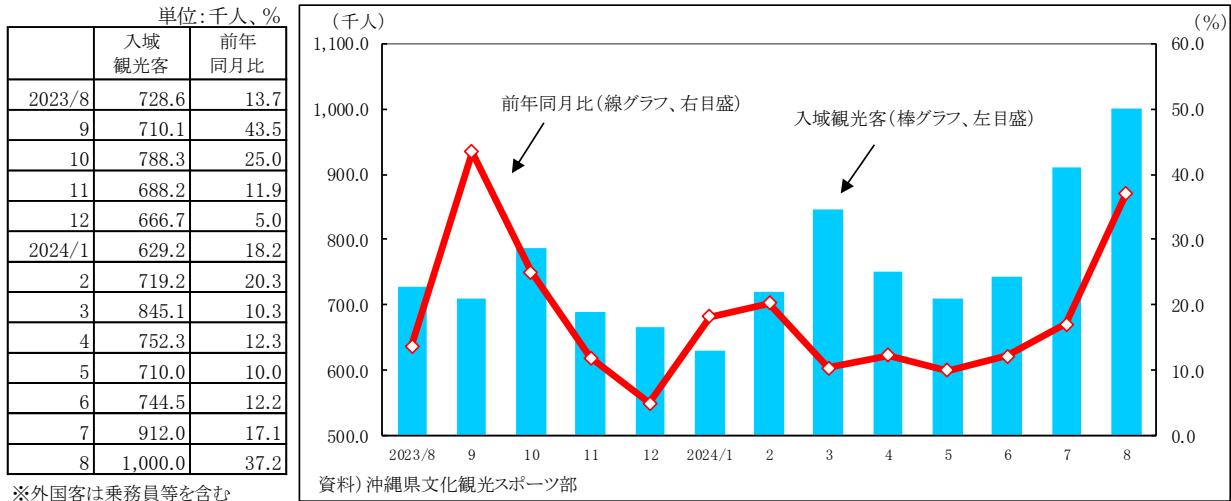


2024 年度累計値では、1.8%減となっています。



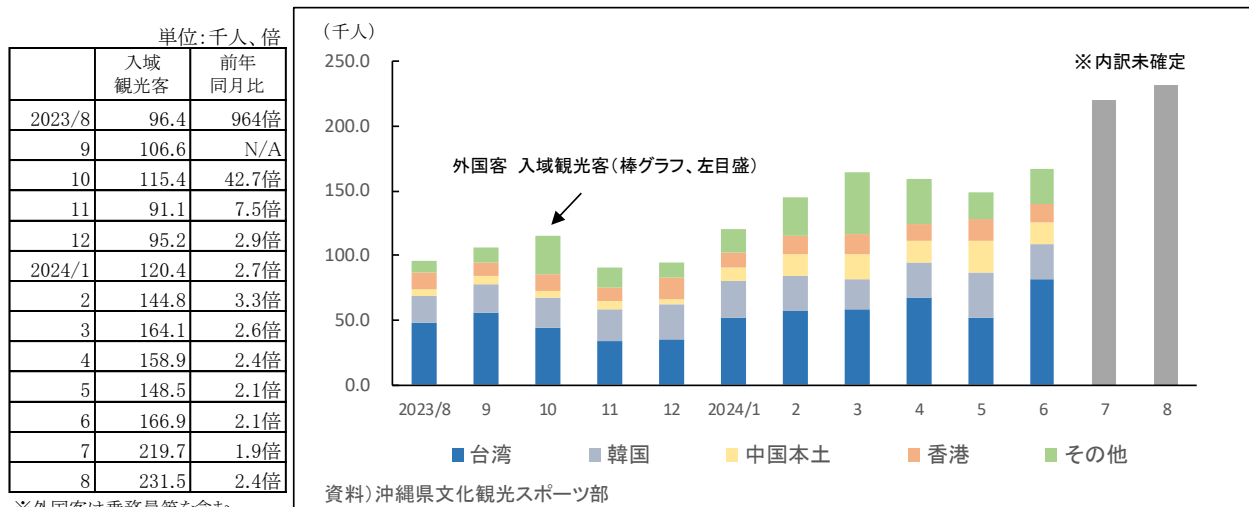
■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は倍率表示、グラフへの反映はなし。前年が0千人の月はN/Aにて表示。

8月の入域観光客数は、前年同月発生した台風6号のような大きな影響がなかったことや、夏休み期間中の旅行需要を見込んだ航空会社各社の増便などにより 1,000,000 人(前年同月比 37.2%増)となり、33ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、21,200 人減少(2.1%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、30,200 人増加(4.1%増)となっています。

外国客入域観光客数は、231,500 人となりました(空路 130,800 人、海路 100,700 人)。今後も外国客数の緩やかな回復が見込まれています。海路では、台湾からの海外クルーズが好調に推移し、中国においても回復しています。

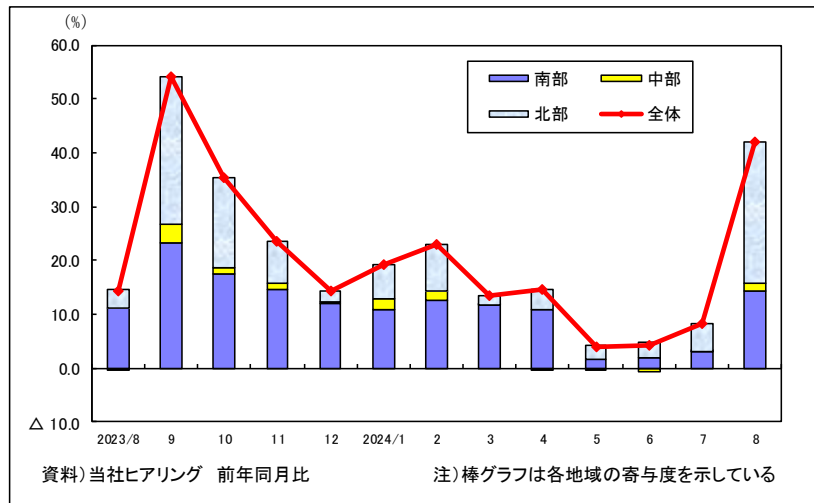
## ②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2023/8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	54.2	77.9	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	14.3	34.0	2.8	3.9
2024/1	19.3	32.7	16.3	11.8
2	23.0	35.7	17.8	15.8
3	13.4	35.5	0.1	2.8
4	14.7	30.0	△ 0.4	7.1
5	3.9	3.7	△ 2.3	5.0
6	4.3	4.4	△ 7.4	5.9
7	8.3	8.8	0.4	9.0
8	42.0	42.5	19.1	44.9

※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



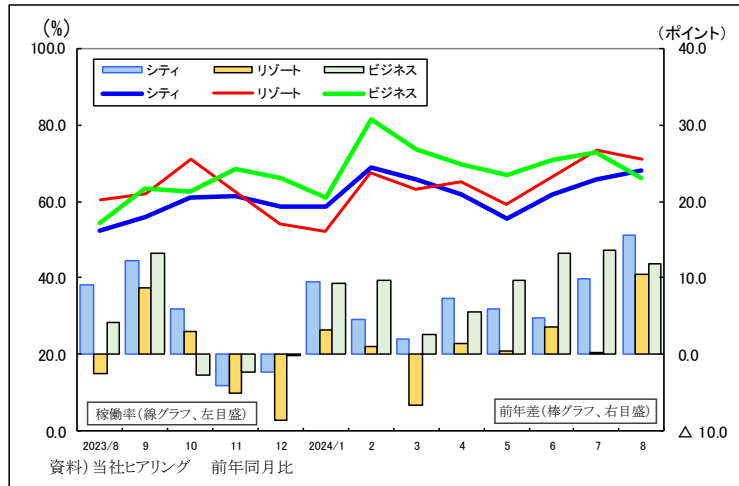
8月の**観光施設入場者数**は、全体では42.0%増となり29ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別で見ると、北部の観光施設は44.9%増、南部の観光施設は42.5%増、中部は19.1%増となりました。(参考)2019年同月比では、全体で25.8%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は16.5%の減少、南部は33.5%の減少、中部は47.6%の減少となっています。

### ③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2023/8	52.5	60.5	54.4	9.1	△ 2.5	4.1
9	55.8	62.1	63.4	12.3	8.7	13.2
10	61.1	71.1	62.6	5.9	2.9	△ 2.7
11	61.5	62.3	68.3	△ 4.0	△ 5.1	△ 2.4
12	58.5	54.2	66.2	△ 2.4	△ 8.7	△ 0.2
2024/1	58.5	52.2	60.9	9.5	3.1	9.3
2	69.0	67.6	81.3	4.5	1.1	9.7
3	65.8	63.3	73.5	2.1	△ 6.7	2.7
4	61.7	65.2	69.6	7.4	1.5	5.5
5	55.4	59.3	66.8	6.0	0.5	9.6
6	61.7	66.4	70.9	4.7	3.5	13.3
7	65.9	73.6	72.7	9.9	0.2	13.6
8	68.0	71.0	66.3	15.5	10.5	11.9

注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



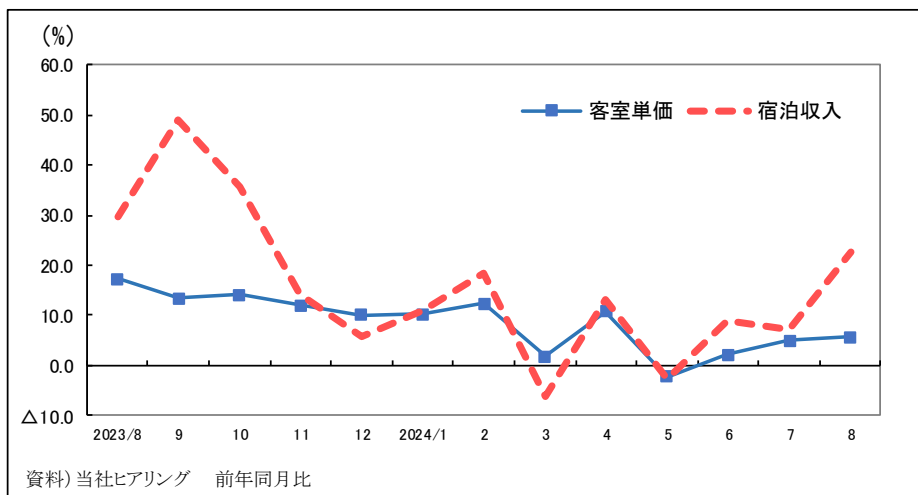
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比15.5ポイント増加、リゾートホテルは10.5ポイント増加、ビジネスホテルは11.9ポイント増加しました。

(参考) 2019年同月比では、シティホテルは10.1ポイントの減少、リゾートホテルは10.9ポイントの減少、ビジネスホテルは11.3ポイントの減少となっています。

### ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2023/8	17.3	29.6
9	13.3	49.2
10	14.2	35.7
11	12.1	14.3
12	10.0	5.9
2024/1	10.3	10.9
2	12.4	18.4
3	1.7	△6.4
4	10.7	13.3
5	△2.2	△2.9
6	2.1	9.0
7	5.0	7.2
8	5.6	22.5



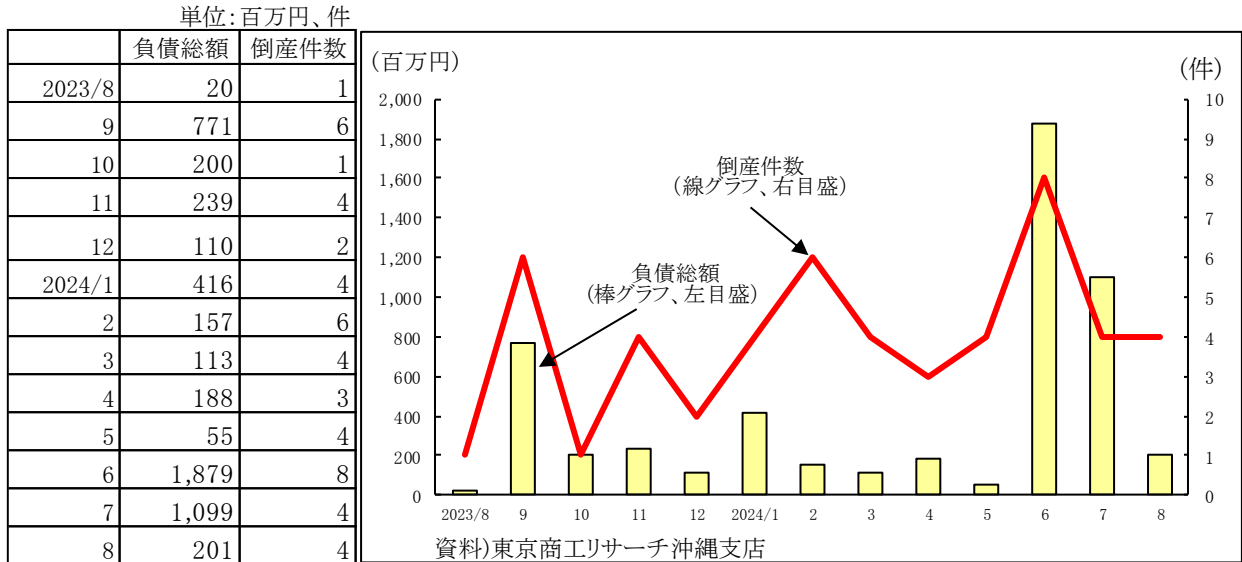
※対象施設数: 22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く  
※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は5.6%増と3ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は22.5%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、客室単価は17.3%の増加、客室収入は12.5%の減少となっています。

■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。



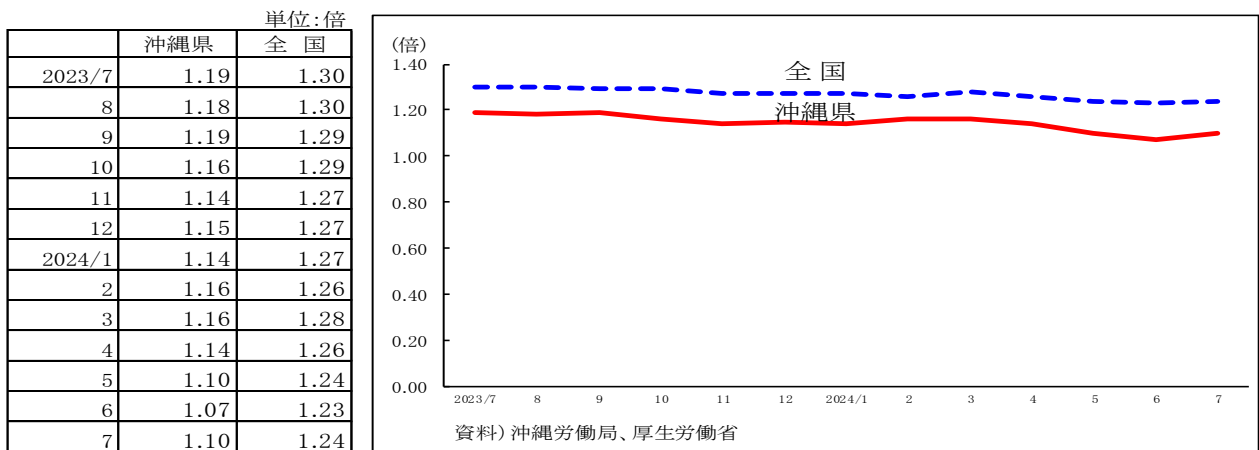
注)負債総額1,000万円以上を集計対象

8月の企業倒産件数は4件(うち1億円以上 10 億円未満の大口倒産は1件)となり、前年同月を300.0%上回りました。

負債総額は2億 100 万円となり、前年同月より905.0%上回りました。

■雇用関連： (やや良い)

①【参考】有効求人倍率・・・沖縄と全国はともに前月より上昇。



注)季節調整済

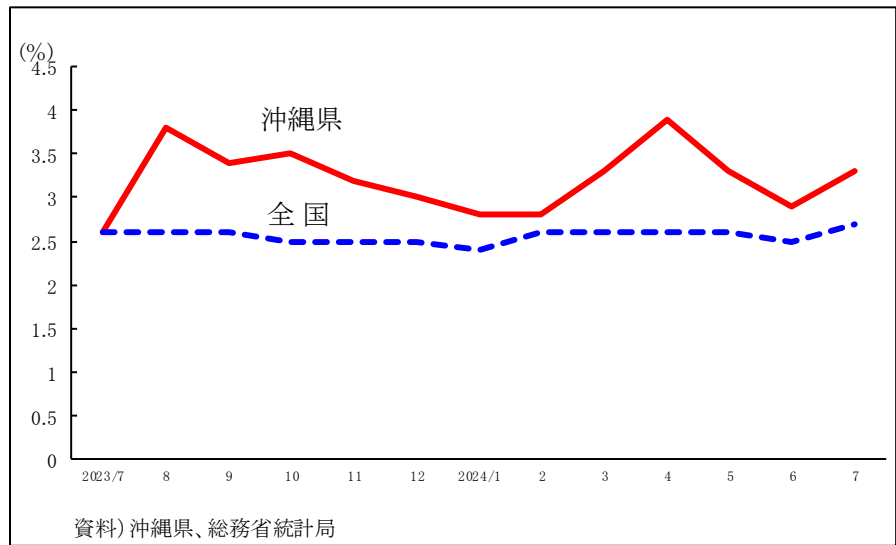
注)沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比 1.1%増の 32,051 人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比 1.6%減の 29,090 人となり、有効求人倍率(季節調整値)は 1.10 倍と、前月より 0.03 ポイント上昇しました。

②【参考】完全失業率・・・沖縄と全国はともに前月より上昇。

単位:%

	沖縄県	全国
2023/7	2.6	2.6
8	3.8	2.6
9	3.4	2.6
10	3.5	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2024/1	2.8	2.4
2	2.8	2.6
3	3.3	2.6
4	3.9	2.6
5	3.3	2.6
6	2.9	2.5
7	3.3	2.7



注) 季節調整済

7月の完全失業率(季節調整値) は、3.3%となり前月より0.4ポイント上昇しました。